

2022年3月29日 日刊建設工業新聞

最優秀に檜崎さん



北九州建築デザインコミュニ
ティ t o n i c a が主催、総合
資格学院などが協賛する「t o
n i c a 建築展2022」が26
日から27日まで、北九州市の市
立美術館本館で開かれた。写
真。学生作品講評会に12大学、
計36作品が展覧され、審査の結
果、最優秀賞に檜崎有祐さん

t o n i c a 建築展22

（九州工業大）の「Marb
ling Apartment」
が輝いた。

t o n i c a は同市内の北九
州市立大、九州工業大、西日本
工業大の建築系学生が主体とな
り、「北九州に建築議論の場を」
をスローガンに市民に建築への
理解を深めてもらうことを目的
に10年に設立した。今回は「伸
展」をテーマに掲げた。

クリティークは田村辰一朗
（タムタムデザイン）、杉田宗
（杉田三郎建築設計事務所）、
鈴木竜（kusukusu Inc.）、畑
友洋（畑友洋建築設計事務所）、
百枝優（百枝優建築設計事務所）

の5氏。参加作品を審査員が巡
回し、プレゼンテーションと質
疑応答などを行い、最終審査進
出者6人を選考した。最終審査
は学生のプレゼンテーションを
受けた。

最優秀賞の檜崎さんの作品
は、集合住宅の住人の関係性が
希薄になっているという問題意
識から、マーケティングによって
暮らしを混ぜ合わせ、関係性を
結びつける集合住宅を提案し
た。「ナカナカ」「ナカソト」
「ソトナカ」「ソトソト」の4
種類に空間を定義付けしたのが
特徴だ。

優秀賞には飯田竜太郎さん
（島根大）の「水辺とまちをつ
なぐCLT建築」と片山萌衣さ
ん（広島工業大）の「死と日常」
を選んだ。総合資格学院賞には
小西喬大さん（西日本工業大）、
スペースラボ賞には永友日向さ
んを選出。クリティーク賞とし
て、田村賞に粕谷しま乃さん
（広島工業大）、杉田賞に古賀
里梨さん（北九州市立大）、鈴木
賞に宅野渉さん（九州工業大）、
畑賞に物部果穂さん（九州工業
大）、百枝賞に藤田遥人さん
（佐賀大）が選ばれた。

審査を通して、「学生の中に
プレゼンをたくさんしてさまざ
まな講評を受けて自分がどうい
う風に思考をブラッシュアップ
していくか。この経験がこの先
ずっと生きてくる」（田村氏）
などと激励した。